## 公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

## 【特定旅客施設名:関目駅】

# 【事業者名 京阪電気鉄道株式会社】

# 令和6年3月末現在

No		1. 整備項目	2. 整 備 内 容	3. 整備目標時期	4. 現時点での 整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に実 施した整備内容
	1	視覚障がい 者誘導用ブ ロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上 に敷設	Α	整備済み	JISに適合したものに順次整備する(令和8年度末完 了予定)	
	2	音案内	視覚障がい者誘導用ブロックの敷設位置に合わせ、音案内の提供を検討	В	トイレ前、ホームの階段は整備済み		令和元年度にトイレ前を 整備
	3	案内·誘導	①駅舎内での一貫した連続性のある案内・誘導、及び乗り換えや周辺施設等への案内に努める ②異常時に改札付近等で掲示を行う	1B 2A	①整備済み ②対応済み		
	4	券売機	車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討。それ以外の細部の仕様は更新時期等に合わせ整備に努める	С	蹴込みについ ては未整備	対応時期については検討中	
	5	改札口	拡幅改札口の設置	А	整備済み		
駅舎	6	エレベーター	①ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保 ②乗り換え経路の確保	А	①整備済み ②整備済み		
	7	階段	①階段の手すりに、行先を点字で表示 ②踏面端部が容易に識別できるように配慮する	А	①整備済み ②整備済み		
	8	ホームにお ける列車の 案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及 び音案内で検討	В	整備済み		平成20年度に情報提供 表示設備整備
	9	車両とホー ムとの隙間・ 段差	①ホーム構造や車両構造について検討を行う ②渡り板を配備	①C ②A	①検討中 ②配備済み	①については現在の技術水準や開発動向ならびに 既存設備の更新時期等を勘案し、今後引き続き検 討を進めていく	
	10	ホームにお ける安全対 策	①ホーム繰端付近に連続して警告ブロックを敷設 ②線路側とホーム内側の区別が出来るエ夫をする ③線路側以外のブラットホーム両端に警告ブロックを敷設	①A ②B ③B	①整備済み ②整備済み ③整備済み		②平成20年度に内方線 整備
	11	トイレ	①車いす対応トイレの設置 ②今後設置するトイレの多機能化	①A ②B	①整備済み ②整備済み		令和元年度にトイレをリ ニューアル
鉄道車両	12	車いすス ペースの確 保	新造車両は、1列車に1箇所以上、既存車両は、 可能な限り、設置に努める	С	<mark>71/87編成</mark> に 設置	令和6年度に1編成(7両)改造予定	
	13	行先等の案 内表示装置	新造車両は、車外から行先、種別が、車内から 行先、種別、次停車駅名がわかる表示装置を設 置	С	68/87編成 474/607両に 設置	令和6年度に1編成(7両)改造予定	
	14	車両間の転 落防止装置	新造車両について、設置。既存車両は、可能な 限り、設置に努める	А	87編成全編成 607両全車に 設置		

【3. 整備目標時期】 時期A 平成22年までに完了 時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。 時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

- 〇 この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。
- 昨年度から変更した内容は<u>赤字</u>で記載しています。

## 公共交通特定事業計画(駅舎、鉄道車両)

#### 【特定旅客施設名:谷町線 関目高殿駅】

# 【事業者名:大阪市高速電気軌道株式会社】

# 令和6年3月末現在

177							11和0年3万本现在
١	ю	1. 整備項目	2. 整 備 内 容	3. 整備目 標時期	4. 現時点で の整備状況	5. 今後の予定【着工予定、工期等】 (整備が完了していない場合のみ記入)	6. 基本構想策定後に 実施した整備内容
駅舎	1	視覚障がい 者誘導用ブ ロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上 に敷設	А	整備済み	但し、JIS適合品では無い。(床改修等の機会を捉えてJIS化に取組んでいる。)	平成17年度にトイレ前ま で敷設
	2	音案内	視覚障がい者誘導用ブロックの敷設位置に合わせ、音案内の提供を検討	В	トイレ前・地上 出入口につい ては整備済み	改札ロやホーム階段部に整備を行う。 (令和17年度)	
	3	案内·誘導	①駅舎内での一貫した連続性のある案内・誘導、及び乗り換えや周辺施設等への案内に努める ②異常時に改札付近等で掲示を行う	①В ②А	①整備済み ②対応済み		
	4	券売機	車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討。それ以外の細部の仕様は更新時期等に合わせ整備に努める	С	一部整備済み	車いす使用者に配慮した蹴込み構造対応工事については、今後、順次対応予定。	新型券売機について は、各券売機室1台以 上整備済み
	5	改札口	拡幅改札口の設置	А	整備済み		
	6	エレベーター	①ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保 ②乗り換え経路の確保	А	①整備済み ②公共用通路 に接続するこ とにより確保		
	7	階段	①階段の手すりに、行先を点字で表示 ②踏面端部が容易に識別できるように配慮する	А	①整備済み ②整備済み		
	8	ホームにお ける列車の 案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で検討	В	整備済み		
	9	車両とホー ムとの隙間・ 段差	①ホーム構造や車両構造について検討を行う ②渡り板を配備	①C ②A	①未整備 ②配備済み	①ホーム床面の嵩上げ・櫛状ゴムの設置により、 段差・隙間を縮小する(令和8年度)	
	10	ホームにおける安全対策	①ホーム緑端付近に連続して警告ブロックを敷設 設②線路側とホーム内側の区別が出来る工夫をする ③線路側外のプラットホーム両端に警告ブロックを敷設	①A ②B ③B	①整備済み ②整備済み ③整備済み		②および③については 平成17年度末に整備済 み
	11	トイレ	①車いす対応トイレの設置 ②今後設置するトイレの多機能化	①A ②B	①整備済み ②整備済み		②については平成23年 度に整備済み
鉄道車両	12	車いすス ペースの確 保	新造車両は、1列車に1箇所以上、既存車両は、 可能な限り、設置に努める	А	40編成全編成 に設置		平成18年度に整備済み
	13	行先等の案 内表示装置	新造車両は、車外から行先、種別が、車内から 行先、種別、次停車駅名がわかる表示装置を設 置	В	整備済み		平成25年度に整備済み
	14	車両間の転 落防止装置	新造車両について、設置。既存車両は、可能な 限り、設置に努める	А	平成13年度に 整備済み		

## 【3. 整備目標時期】

)、金順日後の列 時期A 平成22年までに完了 時期B 平成22年までに完了は困難であるが、平成22年までに着手することを目標とし、可能な限り早期の完了をめざすもの。 時期C 現在の技術水準や開発動向ならびに既存設備の更新時期等を勘案した場合、平成22年以降に着手することを目標とし、今後引き続き検討を進めていくもの。

- 〇 この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。
- 昨年度から変更した内容は<u>赤字</u>で記載しています。